

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月19日

計画の名称	島本町地域住宅等整備計画											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	島本町											
計画の目標	『公営住宅に劣化防止及び耐久性向上に資する改善を行い、既存ストックの長寿命化を図る。』 『入居者の安全・安心を確保するため、既存ストックのバリアフリー化を図る。』											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	362	A	362	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R5末
1	町営住宅の長寿命化率の向上 長寿命化された町営住宅の割合 長寿命化率 = 長寿命化済み戸数 / 町営住宅全管理戸数	0%	%	100%
2	町営住宅のバリアフリー化率の向上 バリアフリー化された町営住宅の割合 バリアフリー化率 = バリアフリー化済み戸数 / 町営住宅全管理戸数	94%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H31	R02	R03	R04	R05						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	島本町	直接	島本町	-	-	公営住宅等ストック総合改善事業	御茶屋住宅(外壁等改修等)、 緑地公園住宅(外壁等改修・ 屋上防水改修・LED改修)	島本町						362		策定済			
												小計						362				
											合計						362					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

島本町において事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和8年2月

公表の方法

島本町のホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（緑地公園）の外壁等改修及び屋上防水改修を行った。
- ・既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（御茶屋）の外壁等改修を行った。
- ・入居者の安全性確保を図るため、公営住宅（御茶屋）のバルコニー手摺を既存鉄製から耐久性のあるアルミ製へ改修した。
- ・既存ストックのバリアフリー化を図るため、公営住宅（御茶屋）の玄関・浴室・便所へ福祉対応手摺を設置した。
- ・既存ストックの高齢者対応を図るため、公営住宅（御茶屋）の浴室へユニットバスを設置した。
- ・既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（緑地公園）の共用灯設備についてLED照明器具への改善を行った。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

公営住宅等長寿命化計画（島本町営住宅長寿命化計画）を改定し、次期計画期間内に実施する計画修繕・改善事業を定めることにより、施設の長寿命化を図る。
なお、本計画は令和元年度から令和6年度までの6カ年計画であるため、令和6年度分の事後評価は、案件番号690441にて別途行っている。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	町営住宅の長寿命化率の向上	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	町営住宅のバリアフリー化率の向上	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%